

# ロボデザイナー RoboDesignerロボット塾

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁 きいだ かつひと

## 第3回 データロガーを使ってみよう



ロボデザイナーの基本セットとして発売されている、オリジナルロボット製作セット「RDS-X01:Platform」。ロボットを作って動かしてみるのがに必要なパーツが一通り揃っている。

### 【製品についてのお問合せは下記窓口まで】

ジャパンロボテック カスタマーセンター  
E-mail : info@japan-robotech.com  
TEL : 092-283-6270 (平日10:00~17:00)  
FAX : 092-283-6271

RDS-X01:Platform 仕様 (セット内容)	
コントローラ	RDC-101
入力	タッチセンサーRDI-201、 アナログ赤外線センサーRDI-202
出力	DCモータ付ギアボックスRDO-501
パーツ	ユニバーサルプレートRDP-801 L型ユニバーサルプレートRDP-802 ユニバーサルピラー RDP-803 ケーブル (20cm) RDP-804 ケーブル (30cm) RDP-805 ユニバーサルキャスターRDP-806 タイヤホイールセットRDP-807 ケーブル (RDI-301用) RDP-808 電池ボックスRDP-809
通信	232Cシリアル通信ボードRDI-301 RDI-301とパソコンを接続するシリアルケーブルも同梱
その他	ソフトウェアTiColla (CD-ROM) RDP-901
プログラム環境	232Cシリアル通信ポートのあるWindows互換機 TiColla動作条件 または市販のUSBシリアルアダプタを接続したWindows互換機 対応OS : WindowsXP/2000/NT
価格	¥9,975 (税込み)

ロボデザイナーは、ジャパンロボテックの自作ロボット用製品群の総称である。シンプルで高機能、それにもかかわらず手ごろな価格で入手できるのが特長だ。コントローラや入出力系、ボディを作る構造部品を自由に組み合わせながら、ロボットの製作を行える。柔軟に設計されているので、教育現場の各段階(中学、高校、工業高校、高専、大学)や各専門課程(一般、電気/電子、情報、機械、計測、制御、コンピュータ)などにおいて、幅広く活用することができる。

## 暗くなると光るちょうちんアンコウロボットを考える

ロボデザイナーにデータロガーがついに実装された。この機能を使うと、センサーの反応を、リアルタイムに観察することができる。状況に応じたセンサーの反応を数値で見ることができ、そのデータをもとにして分岐処理などのプログラミングを行えるのだ。このデータロ

ガーを実装する新しいTiCollaは、ジャパンロボテックのホームページ(<http://www.japan-robotech.com/>)からアップデートすることができる。

そこで、今回は、暗くなると光るちょうちんアンコウロボットを製作してみることにした。

ロボットの前方に豆電球を設置して、暗いところに入ると自動的にそれが点灯するプログラムを考えたのだ。

ロボットの形状は、もちろんちょうちんアンコウをモデルとする。大きな頭に大きなヒレ、それに尾びれが付いているようなイメージだ。